

平成29年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告

- 1 期 日 平成29年8月7日（月）
- 2 会 場 アスカル幸手 ウェルス幸手

- 3 目 的 東部管内の幼児教育及び小学校教育の関係者を対象に研究協議会等を実施し、幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携の強化・改善を図る。

- 4 内 容
- (1) 全体会
- ・ 講演会
「幼稚園教育要領の改訂の趣旨やポイント、幼児期の教育の目指すもの」
埼玉県立大学 准教授 岩井 哲雄 様
- (2) 分科会
- ・ 研究協議
【協議題】子育ての目安「3つのめばえ」～子供の学びや育ちの連続性を見通す～

5 参加者

所属	出席者数
小学校	200名
公立幼稚園	19名
私立幼稚園	29名
公立保育所	19名
私立保育所	14名
認定こども園	6名
東部管内各市町教育委員会	15名
合計	302名



全体会 講演



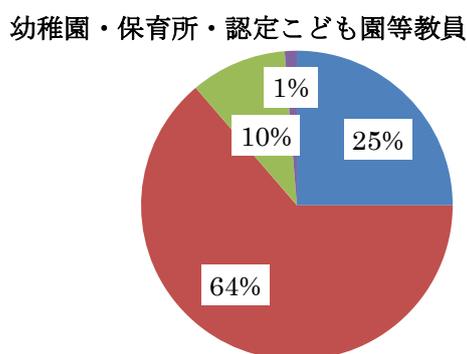
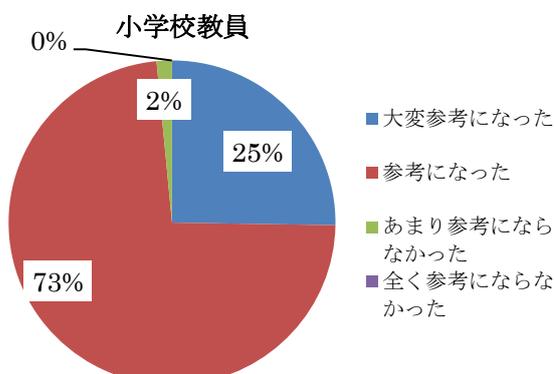
分科会 学びや育ちの連続性を話し合う

6 参会者の感想から

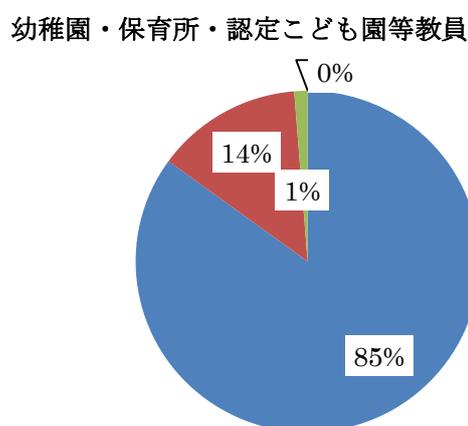
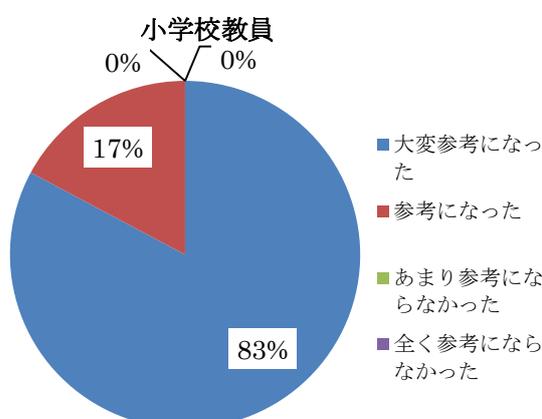
1 本研究協議会の全体会は参考になりましたか

回答数 297名

【校種別回答集計】(%)



2 分科会は参考になりましたか



○ 全体会について

- ・ 幼稚園教育要領や保育所保育指針等について知るよい機会となった。また、幼稚園教育要領等と小学校学習指導要領を比較することで、各教育段階で指導すべきことがよくわかった。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」について理解することができた。
- ・ 幼児期の終わりまでに育ててほしい姿について知ることができた。スムーズな接続を意識していきたい。

○ 分科会について

- ・ 各所属の接続期プログラムや年間指導計画、発達のチェックシートなどを情報交換することができ、大変参考になった。
- ・ 幼保小の子供同士の交流も大切だが、共に研修をするなどして教員同士の連携も図りたい。
- ・ 幼稚園の指導要録は、丁寧に作成しているので、ぜひ小学校でも指導の参考にしてもらいたい。

○ 運営等について要望等

- ・ 分科会が大変有意義だった。もっと長い時間、話し合いたい。
- ・ 市町によって幼保小連携の取組に大きな差があると感じた。市内の教員の連携をもっと深めたい。